

第54回 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会（担当：水工学委員会，海岸工学委員会）
 後援：土木学会中国支部
 期日：2018年9月10日(月)～11日(火)の2日間
 （A・Bコース並行開催）

場所：山口大学 工学部
 D講義棟（山口県宇部市常盤台2-16-1）
 アクセスマップURL
<http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/10info/access.html>



本研修会は土木学会のCPD（継続教育）プログラムとして認定されています。

日程および講義題目・講師 （注）講義題目には若干の変更がある場合があります

Aコース（河川・水文） [行事コードNo.238021]
 《総合テーマ》：新技術の河川工学への応用

Bコース（海岸・港湾） [行事コードNo.238022]
 《総合テーマ》：沿岸域における環境研究の変遷とこれから

■ 9月10日（月）

9:00～ 10:30	最新型気象レーダーを用いたゲリラ豪雨の早期探知・危険性予測とメカニズム解明 中北英一（京都大学・教授）
10:45～ 12:15	環境DNAを用いた河川生物量推定 乾隆帝（山口大学・特命助教）
13:15～ 14:45	GISを用いた流域全体の流木災害リスク管理手法 矢野真一郎（九州大学・教授）
15:00～ 16:30	中国地方の「i-Construction」の取組 和田紘希（国土交通省中国地方整備局・河川部河川計画課長）

■ 9月10日（月）

9:00～ 10:30	沿岸域の水環境の変遷と行政や研究の対応 中村由行（横浜国立大学・教授）
10:45～ 12:15	沿岸海洋学は環境問題をどのように捉えてきたか～これからの学会間連携等について～ 柳哲雄（国際エメックスセンター・特別研究員）
13:15～ 14:45	海岸工学は環境問題をどのように捉えてきたか～これからの学会間連携等について～ 重松孝昌（大阪市立大学・教授）
15:00～ 16:30	水産研究と内湾・内海域における沿岸環境問題～学会間連携が必要なワケ～ 浜口昌己（瀬戸内水研・干潟生産グループ長）

■ 9月11日（火）

9:00～ 10:30	IoT-DRRとグリーンインフラ 森山聡之（福岡工業大学・教授）
10:45～ 12:15	UAV写真測量と河道への応用方法 神野有生（山口大学・准教授）
13:15～ 14:45	光技術を用いた水質生態系改善 朝位孝二（山口大学・教授）
15:00～ 16:30	豪雪軽減及び人工降雨技術 西山浩司（九州大学・助教）

■ 9月11日（火）

9:00～ 10:30	リモートセンシングによる沿岸環境モニタリング～これまでとこれから～ 作野裕司（広島大学・准教授）
10:45～ 12:15	数理モデリングと沿岸環境問題の関係性～その変遷と展望～ 相馬明郎（大阪市立大学・教授）
13:15～ 14:45	巨大水災害に対する土木技術の方向性～防災と環境は融合できるか～ 横山勝英（首都大学東京・教授）
15:00～ 16:30	海岸におけるグリーンインフラの活用 桑江朝比呂（港湾空港技術研究所・沿岸環境研究グループ長）

定員：Aコース150名，Bコース150名

受講料：1コースにつき，一般16,000円，学生・院生10,000円（いずれも講義集代を含む）

申込方法：土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>
 もしくは、FAX（学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」）をご利用下さい

申込締切日：2018年8月31日（金）【必着】

締め切り日以降は，原則として行事当日会場にて受付致しますが，定員に達している場合がありますので，事前に下記へお問合わせ下さい

問合せ先：土木学会 研究事業課 TEL:03-3355-3559（担当：橋本）

備考：会場の詳細，講義の変更等の最新情報に関しては，下記ホームページでご確認ください
 海岸工学委員会ホームページ <http://www.coastal.jp/ja/>
 水工学委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>